

東北地方 1 か月予報

(4 月 1 3 日から 5 月 1 2 日までの天候見通し)

平成 1 4 年 4 月 1 2 日
仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 1 か月の天候 >

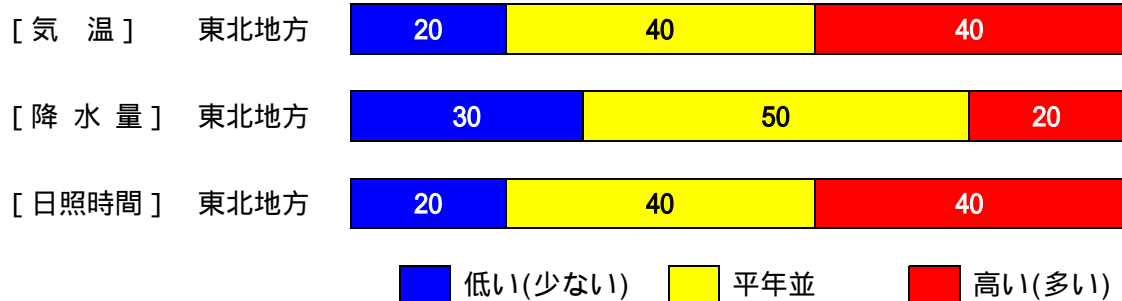
向こう 1 か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

天気は周期的に変わり、晴れの日が多い見込みです。

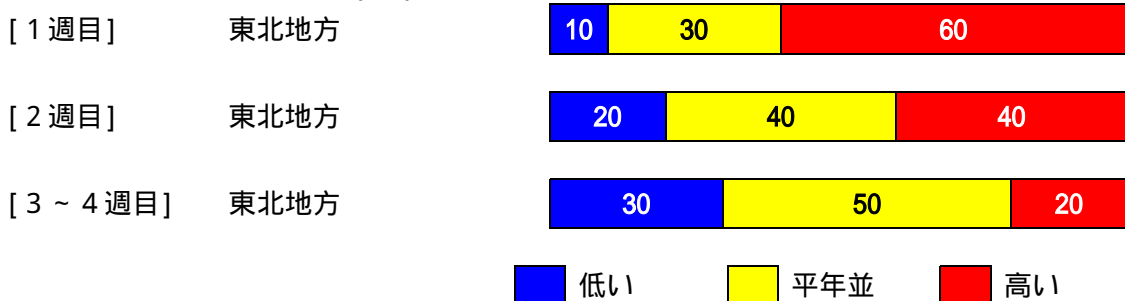
向こう 1 か月の気温は平年並か高く、降水量は平年並、日照時間は平年並が多いでしょう。

気温は、1 週目は高く、2 週目は平年並か高い、3 ~ 4 週目は平年並の見込みです。

< 向こう 1 か月の気温，降水量，日照時間の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 4 月 1 3 日 (土) ~ 5 月 1 2 日 (日)

1 週目 : 4 月 1 3 日 (土) ~ 4 月 1 9 日 (金)

2 週目 : 4 月 2 0 日 (土) ~ 4 月 2 6 日 (金)

3 ~ 4 週目 : 4 月 2 7 日 (土) ~ 5 月 1 0 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 4 月 1 9 日

3 か月予報 : 4 月 2 2 日 (月) 1 4 時 0 0 分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温，降水量，日照時間と 1 週目，2 週目，3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温 ()		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	11.0	152.4	181.0	9.0	10.4	12.0
新庄	10.9	107.1	162.2	8.2	10.1	12.2
若松	12.4	71.1	184.8	10.0	11.7	13.6
深浦	10.3	105.1	178.6	8.4	9.7	11.2
青森	10.2	71.5	193.1	8.0	9.5	11.3
むつ	9.3	93.0	197.4	7.2	8.6	10.3
八戸	10.4	71.2	197.9	8.3	9.7	11.4
秋田	11.3	128.0	175.8	9.3	10.7	12.4
盛岡	10.8	106.5	182.4	8.4	10.1	11.9
宮古	10.6	100.7	189.4	8.7	10.1	11.6
酒田	12.0	119.4	180.1	9.9	11.3	13.0
山形	12.4	77.0	187.3	9.9	11.6	13.6
仙台	12.2	105.8	190.9	10.1	11.6	13.2
石巻	11.3	100.8	193.3	9.2	10.7	12.3
福島	13.7	84.4	190.1	11.3	13.0	14.8
白河	12.1	110.9	182.8	9.9	11.5	13.2
小名浜	12.9	141.5	187.8	11.1	12.4	13.8

なお、気温，降水量，日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温，降水量，日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差 ()	降水量平年比 (%)	日照時間平年比 (%)
東北地方	-0.4 ～ +0.5	87 ～ 117	97 ～ 104
東北日本海側	-0.6 ～ +0.5	89 ～ 114	96 ～ 105
東北太平洋側	-0.3 ～ +0.4	80 ～ 117	96 ～ 104

（３）この予報期間の 1 週目，2 週目，3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.7 ～ +0.7	-0.6 ～ +0.6	-0.4 ～ +0.7
東北日本海側	-0.8 ～ +0.5	-0.7 ～ +0.5	-0.5 ～ +0.7
東北太平洋側	-0.6 ～ +0.8	-0.6 ～ +0.6	-0.4 ～ +0.7

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温・降水量等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ 33 %）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）確率は、予報した階級が実際に起こる割合（出現率）を表しています。たとえば、確率 60 % の予報 10 例では、そのうちの 6 回で予報した階級が実際に起こり、4 回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率（各階級ともに 33 %）から大きく隔たった確率（10 %や 60 %、70 %など）を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30 %、40 %）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 14 年 4 月 12 日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう 1 か月(4 月 13 日～5 月 12 日) :

天気は周期的に変わり、晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1 週目(4 月 13 日～4 月 19 日) :

期間の前半は高気圧に覆われて晴れる日が多いですが、後半は気圧の谷の影響で天気が崩れるでしょう。

平均気温は高いでしょう。

2 週目(4 月 20 日～4 月 26 日) :

天気は概ね周期的に変わるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

3～4 週目(4 月 27 日～5 月 10 日) :

天気は周期的に変わるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

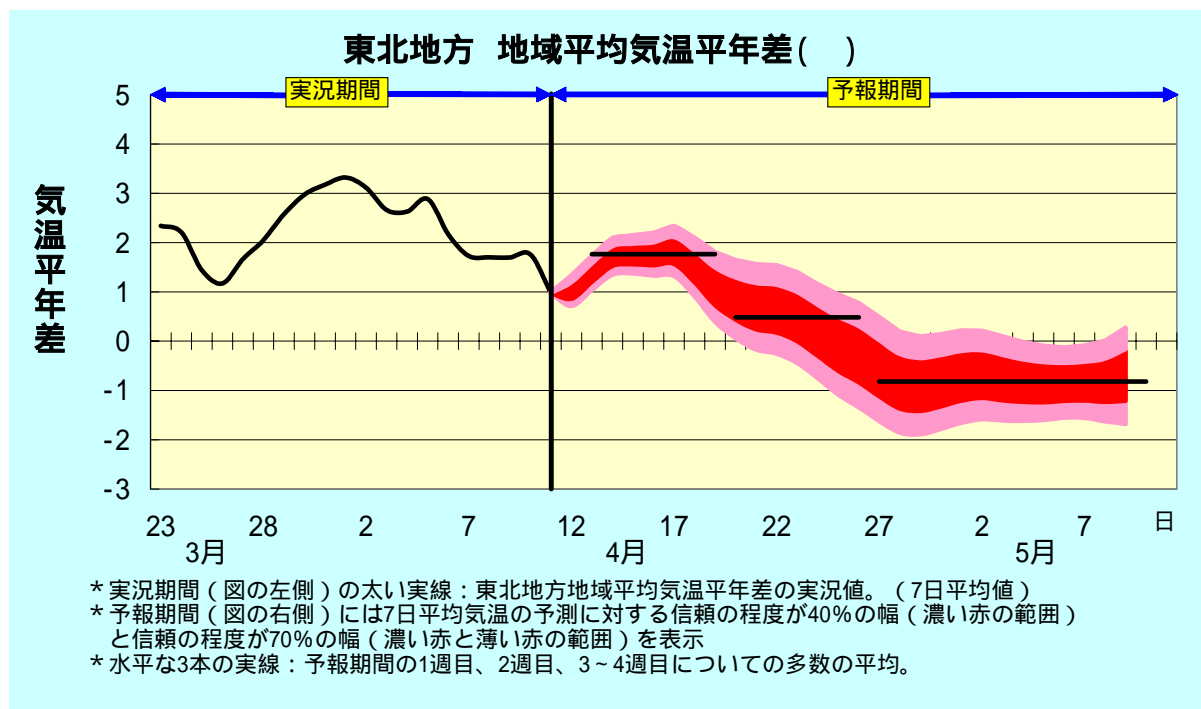
	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	15.8 日	3.9 日	4.0 日	7.9 日
東北太平洋側	16.7 日	4.1 日	4.4 日	8.2 日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と予測結果

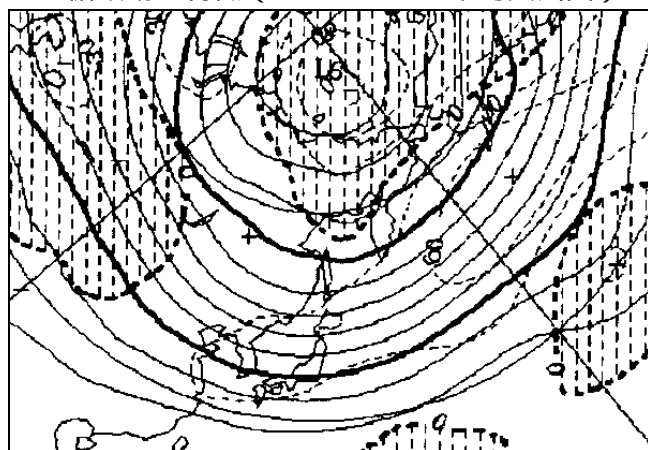
気温は、1 週目は「高い」、2 週目は「平年並」、3～4 週目は「低い」を予測している。

予報は、その他の資料から 2 週目を「平年並か高い」、3～4 週目を「平年並」とする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。



3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



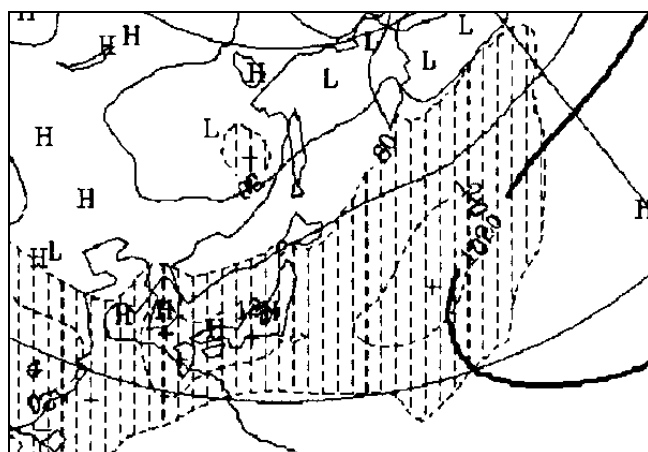
月平均の 500hPa 高度・偏差
等高度線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差

500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、アリューシャン付近に中心を持つ正偏差が東西に伸び、日本付近は広く正偏差となる。

偏西風の流れは、東西流が卓越し、天気は周期的に変化する。

週別（図略）では、2 週目には、1 週目に強まった日本の西の谷場が弱まって東西流となり、3～4 週目は、長波の谷が東に抜ける。このため、日本の東海上から北海道にかけて負偏差となるが、その他の日本付近と中国大陆は正偏差となる。



月平均の地上気圧と降水量
等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上

地上気圧と降水量

月平均で見ると、太平洋高気圧が平年より強く、日本付近に張り出す。しかし、日本付近の等圧線はまばらで、天気は周期的に変化する。降水域は華南から日本の東海上まで帯状に伸び、まとまった降水域は東・西日本に見られる。

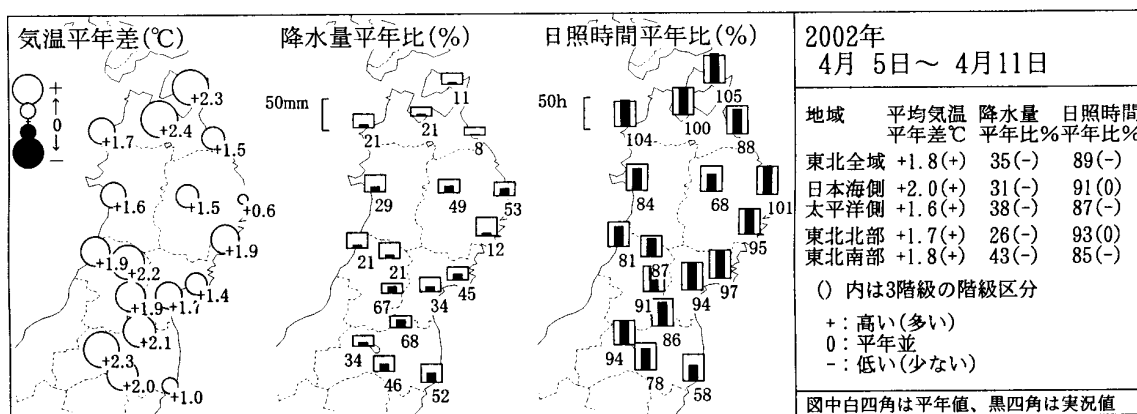
週別（図略）では、1～2 週目は太平洋高気圧が平年より強く日本付近に張り出すが、3～4 週目は平年の周期変化パターンに近づく。降水域は月平均と同様日本付近に広がる。

4. 最近 1 週間（4 月 5 日～4 月 11 日）の天候の経過

この期間、短い周期で気圧の谷が通過し、曇りや雨の日が多かったが天気の崩れは小さかった。また、9～11日には各地で黄砂が観測された。

桜の開花は秋田7日、宮古8日、盛岡11日と共に最も早かった。

平均気温は、東北地方で平年差+1.8 と高かった。降水量は、東北地方で平年比35%と少なかった。日照時間は、東北北部で平年比93%と平年並、東北南部で平年比85%と少なかった。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）